



地域防災の要となる消防団



松本 一二美 議員

消防団の強化と団員の処遇改善を

団員の退職報奨金は 5万円引き上げる

問

消防団員は地域防災の要だ。

昨年成立した「消防団支援法」には、消防団員の確保や報酬の引上げをしていくことが盛り込まれている。処遇改善や装備品についての町の見解は。

総務課長

当町の団員報酬及び出勤手当は、県内の他市町と同等のレベルで報酬を引き上げる予定はない。退職報奨金は、退団した団員には階級を問わず5万円引き上げる。

松前町防災対策プロジェクトチームの検討結果

果などをもとに消防団装備の拡充をしている。

今後も消防団員の意見を積極的に取り入れながら、さらなる体制強化を図っていく。

5歳児検診の実施を

財政面などから実施は難しい

問

5歳児検診は、乳幼児健診から就学前の検診の3年の時間を埋める重要な検診だ。

保健師・保育士・医師の連携で支援が必要

な子どもには、就学に向けた支援体制を検討していける。

子どもの未来にとつ

て必要かつ重要と考えらるが、5歳児検診実施の見解は。

保健福祉部長

5歳児の発達障がいに視点を置いた検診実施には、財政面のほか、見きわめができる医師や専門スタッフの確保が難しい。

さらに、発見した後の療育施設や医療機関のフォローが不十分な状況にある。

現時点では、5歳児に特定した検診を実施することは難しい。